



# 精神分析的な精神療法の 新潮流セミナー

CESC は、これまでにロジャーズを初めとして、ジェンドリン等々、人間性心理学や人間的交流を中心に置いたカウンセリングや Person-Centered-Approach の研修講座・紹介を行ってきました。そうした CESC の人間性への志向性から、人間的な共感と交流に臨床的の重きを置くコフォートの「精神分析的自己心理学」との一致点を多く見出しました。これは単なる偶然ではなく、カウンセリングや精神療法が、問題や病理だけではなく、クライアントとの出会いや交流の中に大きな治療的な意味を見出そうとすることにあります。そこで、本年は、『日本精神分析的自己心理学協会』の協力を得て、近年の精神分析的な精神療法の成果を学びたいと企画しました。コフォートに始まり、21 世紀に入ってからの「相互主体的」な精神療法の展開、近年、話題にされることの多い LGBT 等の「ジェンダー」についても解説する予定です。体系的な受講によって、現状の精神療法における重要なテーマ群を展望することが出来ると思われれます。

①	「共感と交流の精神分析 Kohut,H.の自己心理学」 2021/6/27(日) 14:00~17:00	富樫 公一	フロイト以後の精神分析的な精神療法に大きな変革をもたらしたコフォートの自己心理学のトータルな紹介。とりわけ自己愛の発達と重要性。自己愛の病理やその治療に通って求められるセラピストとクライアントの共感的関係の構築について主題とする。
②	「Kohut を超えて -Stolorow,R.D.の相互主観性」 2021/7/25(日) 14:00~17:00	富樫 公一	コフォートの自己心理学は、それまでの厳格な規範と枠組みを求めた古典的精神分析療法に対して、セラピストとクライアントとの相互性というテーマを発見した。残念ながらコフォートの死によってこの相互主体性のテーマは、発展途上で終わったが、その後ストロロウの相互主体的精神分析学が、精神分析療法とはセラピストとクライアントとの共感と重量を越えた、共同作業であることを明らかにした。
③	「セラピストとクライアントの協働主体的-共同構築的精神療法-事例とスーパービジョン」 2021/9/26(日) 14:00~18:00	中西 和紀	第一回、第二回が、主として理論の紹介であったのに対し、第三回目は、実際の臨床例を提示し、その評価や認識のみならず、治療的相互作用を介してのクライアントの診断・評価を、具体的に理解して行きたい。また、セラピストとクライアントとの協働主体的な作業によって、どのように治療的な展開が生じ、成果を上げられるかを、スーパービジョンを通して理解していただくことを目的とする。
④	「乳幼児研究の貢献」Beebe,B. の相互交流調整の世界と大人の臨床 2021/10/24(日) 14:00~17:00	富樫 公一	精神療法の現場に生まれる相互主体的フィールドでは、実際にどのような相互交流プロセスが展開しているのだろうか。 Beebe & Lachmann の乳幼児研究は、一秒以下の瞬間瞬間の相互交流のありさまを描き出した。そしてその交流は私たちの大人の臨床場面でも、私たちの意識に止まらないところで大きな影響を与えている。 これを知ると、私たちが捉えている臨床実践の現場の景色が変わる。
⑤	「LGBTQ+の現状」 「LGBTQ++諸問題」 2021/11/28(日) 14:00~18:00	及川 卓 葛西真記子	近年、日本社会において、大きな話題となった「性別同一性」(ジェンダー・アイデンティティ)の問題を、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(受容性)、ユニバーシティ(普遍性)の視点からとらえることを目標とする。性別違和を含めて、LGBTQ と呼ばれる人々たちへの理解を、幼少期・学童期について葛西が、また成人期や就労・同性婚問題などについて及川が分担して、分りやすく解説を試みる。
⑥	「当事者としての治療者 -言葉による世界の分断とトラウマ、差別」 2022/2/23(水祝) 14:00~17:00	富樫 公一	21 世紀に入り、米国で問題提起をされた「倫理的転回」の立場から、あらゆる精神療法に見出せる治療者によるクライアントへの“侵害性”といった精神療法における根源的な問題を提示する。精神療法の中に内在する臨床家による差別や支配と、臨床家の脆弱性や可能性の問題について、フェミニズムや植民地主義を介して考察する。



# 精神分析的 精神療法の 新潮流セミナー

## 講師プロフィール

### 富樫 公一(本研修監修者)

甲南大学文学部教授, 日本精神分析的自己心理学協会・代表理事。栄橋心理相談室精神分析家。  
2001~2006 年 NPAP 精神分析研究所, TRISP 自己心理学研究所(New York)に留学。2003~2006 年南カリフォルニア大学東アジア研究所客員研究員。2006~2012 年広島国際大学大学院准教授。  
ニューヨーク州精神分析家ライセンス, 公認心理師・臨床心理士, 博士(文学), NAAP 精神分析学会認定精神分析家, TRISP 自己心理学研究所ファカルティ・訓練分析家・スーパーヴァイザー、国際自己心理学会国際評議員、Psychoanalysis, Self and Context 誌国際編集委員。Psychoanalytic Inquiry 誌編集委員。

#### 主要著書

- ・『精神分析が生まれるところ-間主観性理論が導く出会いの原点-』(岩崎学術出版社)
- ・『トラウマと倫理: 精神分析と哲学の対話』(岩崎学術出版社)
- ・『当事者としての治療者: 差別と支配への恐れと欲望』(岩崎学術出版社)
- ・『Kohut's Twinship across Cultures: The Psychology of Being Human』(Routledge)
- ・『The Psychoanalytic Zero: A Decolonizing Study of Therapeutic Dialogues』(Routledge)

受賞歴: 2020 年米国 NAAP 精神分析学会 GRADIVA 賞(最優秀書籍部門)



**葛西真記子:** 鳴門大学大学院学校教育研究科教授。博士(心理学)。JFPSP 認定精神分析的な心理療法家 臨床心理士 公認心理師。主要著書 『LGBTQ+の児童生徒学生への支援』共著 誠信書房 『Sexual Orientation, Gender Identity, and Schooling』分担 Oxford University Press

**及川卓:** 及川卓心理研究所長。慶応大学医学部精神科助教授小此木啓吾氏より精神分析的教育訓練を受ける。Archives of Sexual Behavior 国際編集委員。臨床心理士、日本性科学会・認定セックスセラピスト。主要著書『ジェンダーとセックス精神療法とカウンセリングの現場から』(弘文堂)

**中西和紀:** あいせい紀年病院 JFPSP 日本精神分析的自己心理学協会理事  
JFPSP 認定精神分析的な心理療法家 臨床心理士 公認心理師

【日程時間】 2021 年 ①6/27、②7/25、③9/26、④10/24、⑤11/28(日)  
2022 年 ⑥2/23(月祝)  
①②④⑥: 14:00~17:00  
③⑤: 14:00~18:00

【対 象】 臨床心理士 公認心理師 精神保健福祉士 医療関係者 対人援助職 コーフト理論・ポスト精神分析・現代哲学・社会学・文化芸術論などに興味をお持ちの方

【会 場】 Zoom 会議室

【受講料】 1 講座受講 ①~⑥: 各々 5,000 円 + 消費税

①~⑥全 6 講座受講: 28,000 円 + 消費税

※全 6 回(20 時間)受講は、臨床心理士定例型研修会承認申請予定しています。

【申 込】 <https://www.npo-cesc.or.jp>の申込フォーム 右の QR コードから

※申込受理後、受講料納入案内(詳細記載)。

※納入された受講料の返金はお受けできません。



本講座は、ONLINE 研修です。皆様はご自宅から受講いただけます。

必要なものは、パソコン、スマホ、タブレット等です。スマホ、タブレットの場合、

あらかじめアプリをインストールしてください。ダウンロードは<https://zoom.us/download>

■本研修受講については、自宅等でプライバシーが十分に守れる場所での Web 接続と内容に対する守秘義務を遵守していただきます。

■場合によっては、電波の障害などで繋がりが悪くなる場合があります。

■Zoom 接続トラブル解決のためにテクニカルスタッフが参加します。以上のことに同意をお願い申し上げます。

■Zoom に不案内な方は、事前に使用方法を練習する時間を設けます。Mail: [cesc@npo-cesc.or.jp](mailto:cesc@npo-cesc.or.jp) にご連絡ください。